

■ タテルヨシノ芝パークホテル店支配人 田中優二

略歴：田中 優二（たなか ゆうじ）

1968年東京都生まれ。1988年「都ホテル・東京」でサーヴィスマンとしてのキャリアをスタートさせる。1994年東京・恵比寿の「タイユヴァン・ロブション」シェフ ドランとして活躍中の1997年渡仏。パリ・当時ミシュラン三ツ星レストラン「タイユヴァン」で研修、サーヴィスの真髄を学ぶ。1999年メートルドテルとなる。2003年3月 パリ『ステラ・マリス』ミシュラン1つ星レストランの東京本店、芝パークホテル内 レストラン タテル・ヨシノ 支配人



2003年11月第10回「メートル・ド・セルヴィス杯」（東京開催）第3位入賞

2004年4月「クープ・ジョルジュ・バプティスト国際コンクール」（フランス・ルーアンにて開催）準優勝

2004年10月第11回「メートル・ド・セルヴィス杯」（東京開催）優勝

現在「メートル・ド・セルヴィスの会」の役員を兼ねる。

「メートル・ド・セルヴィス杯」。サーヴィスの基本を理解し、リーダーとしてレストランを指揮、洗練されたサーヴィスで、いかに営業に貢献するか。

「レストランの楽しみ」をつくるためのさまざまな力量を問うこのコンクールは、正確なサーヴィスの理解と高度な技術、現場の経験を必要とします。ヨーロッパのサーヴィスコンクールの権威、クープ・ジョルジュ・バプティスト協会の全面的な支援とノウハウを得て、テーブルの仕込みから客の迎え入れ、送り出しにいたるサーヴィス技術とソフトのトータルを競う日本で唯一のコンクールです。

「クープ・ジョルジュ・バプティスト協会 (C.G.B)」とは？
ホテル産業相互協会組合を運営母体とし、1961年から開催されているヨーロッパで最も権威のあるサーヴィスコンクール。プロの部と学生の部があり、ヨーロッパ選手権（毎年）のほか、2003年に続き、2006年にはメキシコにて世界大会を開催。

「メートル・ド・セルヴィスの会」とは？

11回のコンクールを勝ち抜いた入賞者を中心とし、業界発展を目指して活発な活動を行っている非営利の団体。「メートル・ド・セルヴィス杯」の支援と継承活動を通じて、サーヴィスマンの技能向上を図るとともに、食文化の発展に広く貢献することを目的に2001年10月に設立。2005年度よりコンクールの運営協力にあたっている。